

策定年月	令和5年3月
見直し年月	令和6年4月

麦・大豆国産化プラン

産地名：嘉麻市

（作成主体：嘉麻市麦・大豆生産技術向上事業組合）

1. 麦・大豆生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

○現状と課題

<麦>

- ・令和6年産は、「はるか二条」を65ha作付け。
- ・近年は急激に作付面積が増加しており、適期作業を行うためには、作業の効率化が必要。

<大豆>

- ・令和5年産は、「すずおとめ」「フクユタカ」を合計43ha作付け。
- ・近年は急激に作付面積が増加しており、適期作業を行うためには、作業の効率化が必要。
- ・収穫期が麦の播種と重なることで、収穫適期を逃し裂莢が生じて収量が減少している。

○課題に向けた取組方針

<麦>

- ・湿害による生育抑制対策として、弾丸暗渠による排水対策を徹底する。
- ・作付面積の増加への対応を図るため、引き続き、省力化播種技術を活用した作業の効率化に取り組む。
- ・麦の単収増加並びに品質の安定化を図るため、生育中後期における生育状況に応じた最適な施肥を実施する。
- ・もち性大麦である「くすもち二条」への品種転換に取り組む。

<大豆>

- ・湿害による生育抑制対策として、弾丸暗渠による排水対策を徹底する。
- ・作付面積の増加への対応を図るため、播種作業の省力化並びにスマート農業の活用継続に取り組む。
- ・出荷作業の省力化を図るため、製品のフレコン出荷に継続して取り組む。
- ・難裂莢品種である「そらみのり」への品種転換に取り組む。

※ 麦・大豆生産における課題(湿害対策、適期播種、土づくり、連作障害対策等の必要性等)を具体的に記載すること。

※ 課題解決に向けて取り組む内容及び今後の生産拡大に向けた方針を具体的に記載すること。

2. 産地と実需者との連携方針

<麦> 嘉麻市内で生産する「くすもち二条」は、嘉麻市産として麦実需者（非公表）へ約160トン販売する見込み。 <大豆> 嘉麻市内で生産した「そらみのり」は、嘉麻市産として大豆実需者（非公表）へ約65トン販売。 意見交換を実施し、需要に応じた品種の導入や品質向上に向けた新技術の試験に取り組む。				
国産麦取扱量 ○大麦 単位:t				
品種名	産地取扱量		実需者取扱量	
	現状 (令和6年産)	目標 (令和9年産)	現状 (令和6年産)	目標 (令和9年産)
くすもち二条	0	160	0	160
国産大豆取扱量 単位:t				
品種名	産地取扱量		実需者取扱量	
	現状 (令和5年産)	目標 (令和8年産)	現状 (令和5年産)	目標 (令和8年産)
そらみのり	0	65	0	65

※ 産地と実需者については具体的な名称を記載すること。

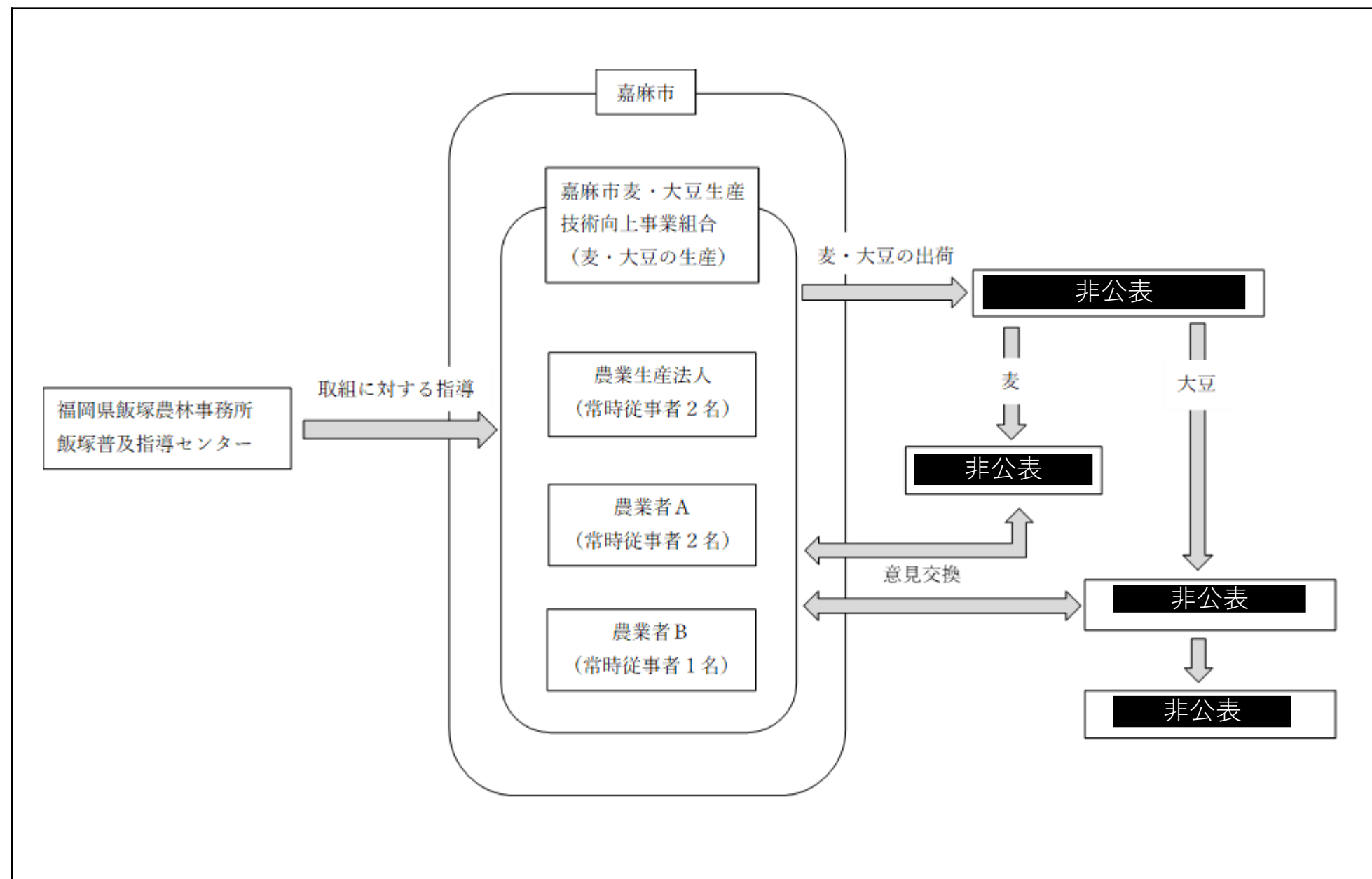
※ 麦の実需者は、麦を原料とした加工品等の製造を業とする者（製粉会社、製パン会社、製麺会社等）とする。

※ 大豆の実需者は、大豆を原料とした加工品等の製造を業とする者、大豆の販売を業とする者及びこれらの者が組織する法人その他の団体とする。

なお、販売を業とする者を実需者とする場合は、その者が販売する先（最終実需者）について、代表的な者の名称を記載すること。

※ 産地と実需者それぞれの国産麦・大豆取扱量の現状とおおむねの目標値を記載すること。

3. 麦・大豆の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割



※ 産地と実需者との連携について、図等を用いて明示すること。

※ 取組の中心となる農業者等を必ず位置付けること。